

<校務利用>①「生成AIとどのように付き合っていけばよいか～校務利活用を通して～」

みんなの疑問
～テーマ～

生成AIとどのように付き合っていく？

取組の概要

使用サービス

生成AIを活用したい教員が先行的に活用し、どのような場面でどのような活用ができるかを検証していきながら、「生成AIとの付き合い方」を考えていく。

- ChatGPT
 - Copilot
 - Gemini
- ↓
- 校務利用**

- 「**時間の捻出**」を目的とした仕事の効率化を考えた場合（作業の自動化など）、プロンプトの作成など不慣れな部分が多いため**自分で行ったほうが早い**と感じる職員が多かった。
- 「**手**」としての活用ではなく「**頭脳**」としての活用する職員が多かった。作業の質を高めるためのよき**相談相手（対話相手）**となっている。



教頭

苦手分野の克服

生成AIに求めるもの：苦手な分野をカバーしてもらい
通知文や報告書などで「よそ行きの堅い文章」を書くことが苦手→生成AIに助けをもらう
生成AIを活用した事例：通知文・案内文・報告文書等のたたき台・添削



養護教諭

相談相手として

生成AIに求めるもの：養護教諭は学校に一人しかいないので、気軽に相談できる相手として
生成AIを活用した事例：○保健だよりのトピックの抽出、学校保健委員会や薬物乱用防止教室等で、態調査のためのアンケートの作成例を挙げってもらう ○生徒の感想等を簡潔にまとめ、理解度を測る参考にする ○さまざまな学校保健課題の解決の為のアイデアを挙げってもらう



研修主任

より質の高いものをもとめるために

生成AIに求めるもの：生産性の向上、個人だけではなく学校全体で生産性を高める。より学習効果の高い授業を構想するための手助けや効果的な研修を実施するための手助けをしてもらう
生成AIを活用した事例：研修初期段階におけるテーマ設定のたたき台作成・研修資料等のたたき台作成

生成AIに求めるもの：自分自身の思考の整理、授業の内容を深めるための良き助言者として
生成AIを活用した事例：生徒の実態を把握するためのアンケートの質問例の提示、アンケート結果から今後の授業展開についての案の提示等



若手教員

今のところの答え

対話的で深い「作業」をするための対話相手となっている